

2021年5月 春合宿 毛勝山 (2414.5m) メンバー：吉田H、嘉村、佐藤 (記録)

2日 桐生9時発＝前橋＝魚津＝片貝キャンプ場 (曇りのち雨)

北陸道を走っていると風と雨が強い。雨が降っているのに、登山口に近いキャンプ場に泊まる。

3日 ゲート5:00—片貝山荘—登山口6:50—1470m10:20—1850m付近12:30—テント泊 (曇りのち雪)



片貝山荘まで冬期閉鎖の道6kmを歩く。登山口まで一緒だった他のパーティは谷からのルートへ行く。西北尾根はいきなり300mの急登。その後も、濡れた木の根が滑り、歩きにくい道が続く。昨日までに降った雪と途中から降りだした雪が積もり冬のような新雪だ。先行パーティがありトレースを辿る。そのパーティより少し上の1850m付近、風の弱そうなところにテントを張る。そのころから雪も交じり、夜には、星空。魚津の街の灯りも見える。



4日 テント場5:00—モモアセ山5:45—2151m6:25—山頂8:00—テント場10:00～11:00—毛勝山登山口15:00—ゲート17:00 (晴れ、山頂付近強風) 片貝キャンプ場泊



晴れて気持ちの良い朝だ。でも、明日は崩れる予報。縦走はやめて、毛勝山往復にする。前日私たちのすぐ上に泊まったパーティが先行してトレースを付けてくれた。猫又山まで縦走するようで重い荷物を背負っている。モモアセ山を過ぎたところで先頭を交代する。新雪の下の雪が緩み、踏み抜きや穴にはまったり、風で飛ばされクラストしていたり、樹林の間や雪が落ち壁のようになったところなど登りにくい。立ち止まり息を整えながらやっと登る。体力の低下を実感。しかも、風が強くなってきた。「山頂は着いたら写真だけ撮って降りよう。」やっと山頂に!!目の前には大きな剣岳。風がなければ雄大な景色をしばらく眺められたのに、残念に思いながら下山開始。風の弱くなったところで休憩し景色を楽しむ。テントを撤収してから、私にとっては地獄のような下り、何とか無事降りた。登るときはつぼんでいた、イワウチワやミツバオウレン、キクザキイチゲなどの花が咲き、心を和ませてくれた。魚津の街に下りて、温泉に入りすっきりした。そこから剣岳や毛勝山が見え、「富山の雪の山っていいなあ・・・」と。その日はテントに泊まり、翌朝帰路へ。

